

第 44 回 START プログラム及び第 1 回 START+プログラム (オーストラリア)

2017 年 8 月 25 日から 9 月 11 日までの約 2 週間、第 44 回 START プログラムに学部 1 年生 20 人、第 1 回 START+プログラムに学部 2～3 年生 26 人が参加し、Aaron Claude Sponseller 講師 (教育学研究科) ほか 2 人の引率職員とともに、オーストラリア アデレード市にあるフリンダース大学に留学しました。

第 44 回 START プログラムに参加した学部 1 年生は、フリンダース大学のメインキャンパスで、附属語学学校 (IELI) の英語教員 3 人の指導のもと、基本的に 1 グループ 10 人で学習に取り組みました。オーストラリアの歴史や文化を学んだり、現地学生と繰り返し討論を実施したりしました。これにより、学生たちは英語の運用能力向上はもちろんのこと、自身の考えを言葉にし、積極的に他者に伝える力を身につけられたと思います。最初は発言を求められる場面で静かだった学生も、終盤には自ら発言するようになり、成長を感じられました。現地学生の講義に参加した時は、講師の話す英語についていけず苦戦しているようでしたが、終了後に学生同士で内容を確認している様子から、理解しようとしている姿が見えました。

第 1 回 START+プログラムに参加した学部 2～3 年生は、アデレード市内中心部に位置する IELI のシティキャンパスで、集中英語研修を行いました。参加学生は、それぞれの英語のレベルによって異なるクラスに分かれ、プレゼンテーション技法を習得したり、世界各国から英語を学びに来ている IELI の学生たちと同じ教室でコミュニケーションのクラスを受講したりしました。

このプログラムは大学での講義のほかに、学外研修が充実しているのが特徴です。アデレード市内で州議事堂や博物館の見学のほか、一番のイベントとして週末 2 日間を利用してカンガルー島研修を実施しました。2 日間ガイドとともに行動し、オーストラリアの雄大な自然に触れることが目的です。1 日目は生憎の天候により、予定していたいくつかの体験が中止になってしまいましたが、夜は集まって談笑したり、アボリジニの伝統楽器ディジュリドゥの演奏を体験したりと楽しむことができました。2 日目は天候もよくなり、海辺で野生のアザラシを観察できたときはとても大きな歓声が上がりました。

研修最終日には、テーマ別のグループに分かれてプレゼンテーションを実施しました。現地学生へのインタビューを精力的に行った学生が多く、その姿に驚いたことを覚えています。講義を通して身に付けた表現方法や発表態度を存分に発揮し、事前研修よりも精度の高い発表となりました。

この研修を通して、学生は英語を話すことの喜びと難しさを肌で感じるすることができまし

た。研修中によく聞かれたのが「英語でどう表現していいかわからない、相手に意図が伝わらなくて悔しい」という言葉でしたが、研修やホストファミリーとの会話を通して、徐々に話す喜びを感じる学生が増えていきました。ホストファミリーとの自由時間を有意義に過ごした学生も多く、「最高のホームステイを経験できた、帰りたくない」との声が多く挙がったことは大変うれしく思います。最終日の **farewell party** での打ち解けた様子を見て初日との違いを実感しました。学生たちが、この研修で得た知識や、自身の感情の変化を忘れることなく、今後大いに活躍してくれることを願います。



アデレード市内研修にて



現地学生とのディスカッション



最終日のプレゼンテーションにて



カンガルー島でのアザラシ観察



現地学生との授業 (START+プログラム)



IELI Cityにて (START+プログラム)